2022特別テーマ展

「高瀬山の考古学Ⅰ」

６月11日（土）～９月４日（日）

エントランス

ごあいさつ

山形県の中央部、寒河江市にある高瀬山遺跡は東西 1000m、南北 600mを越える広大な遺跡です。県指定史跡「高瀬山古墳」の位置する地域で、周辺で縄文土器や石器が出土する遺跡として知られていました。

山形県教育庁に文化課が設置され、また、各市町村にも埋蔵文化財の保護担当の職員が配置されるようになってからの最初の発掘調査は 1981 年の東北電力の鉄塔移設に伴う小面積の調査でした。この調査では古墳時代の方形周溝墓や旧石器時代から縄文時代草創期にかけての尖頭器を伴う石器群が出土しました。1985 年以降は市道改良や河川改修事業に伴う発掘調査が行われ、旧石器時代と縄文時代、古墳時代から奈良・平安時代の遺構や遺物が多数出土しました。

この高瀬山遺跡に東北横断自動車道酒田線建設計画が具体化し 1990 年に山形県教育委員会が計画路線周辺の分布調査を行い、広大な範囲に土器や石器が散布することを確認しました。その翌年以降試掘調査を含む調査が始まり、1994 年以降工事区域の本格的な発掘調査が開始されました。自動車道の建設では遺跡内に酒田線では唯一の「サービスエリア」が設置され、これに隣接して、当時は全国的にもあまり例のなかったサービスエリアに駐車して出入りできる「ハイウェーオアシスパーク」も整備されることになり、膨大な面積の発掘調査が行われることになりました。

1994 年に始められた発掘調査は途中休止がありましたが 2010 年まで継続され、市の事業等での調査も含め実に 253,902 ㎡もの広大な範囲の調査となりました。山形県内では勿論、1 遺跡の調査面積としては全国的に見ても類例がほとんどないといってもいいかもしれません。

後期旧石器時代後半期から中世に至るまで、繰り返し生活痕跡が残り、大量の土器や石器が出土しました。

今年度は「高瀬山の考古学Ⅰ」として旧石器時代から縄文時代の代表的な出土品を展示いたします。来年度は古墳時代以降、中世までの出土品を展示する予定です。

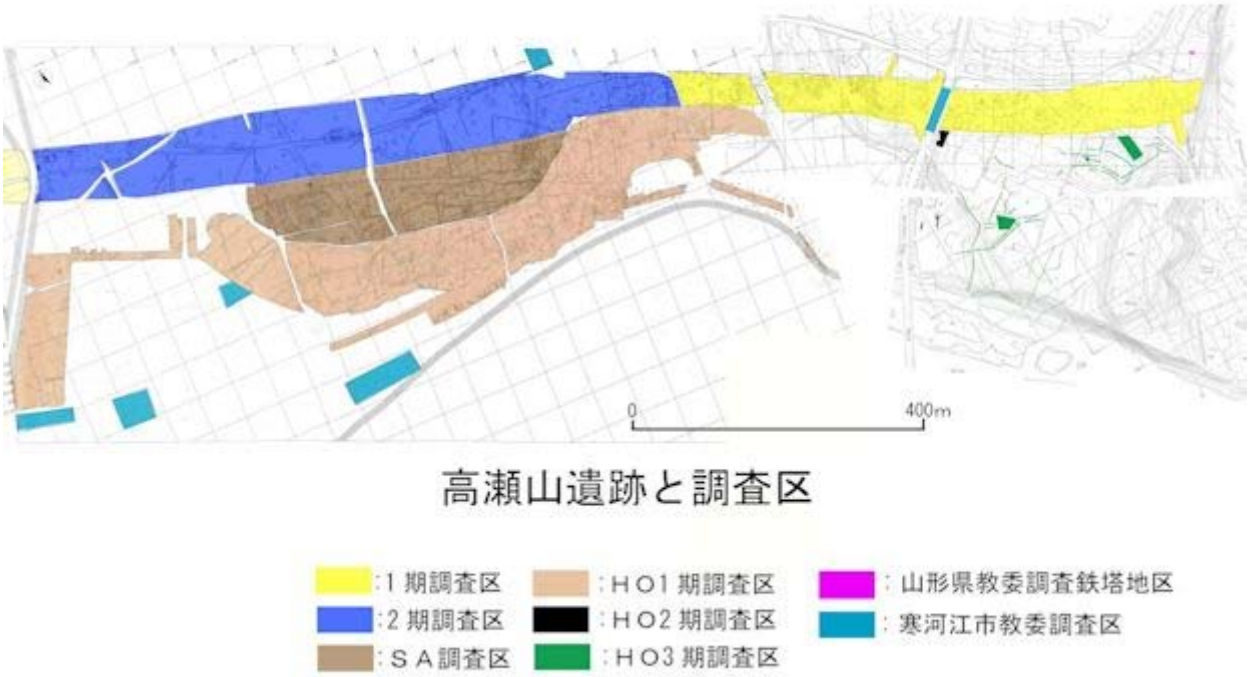
今回の展示に際して、(公財)山形県埋蔵文化財センター、寒河江市教育委員会から貴重な資料をお借りいたしました。また、黒坂雅人・後藤枝里子・大場正善・大宮富善の各氏から御協力を賜りました。厚く感謝申し上げ、御挨拶といたします。

令和４年６月 11 日

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
館 長　渋 谷 孝 雄

ご挨拶

序　章　高瀬山遺跡の概要



高瀬山遺跡の調査区配置

高瀬山遺跡の調査経過

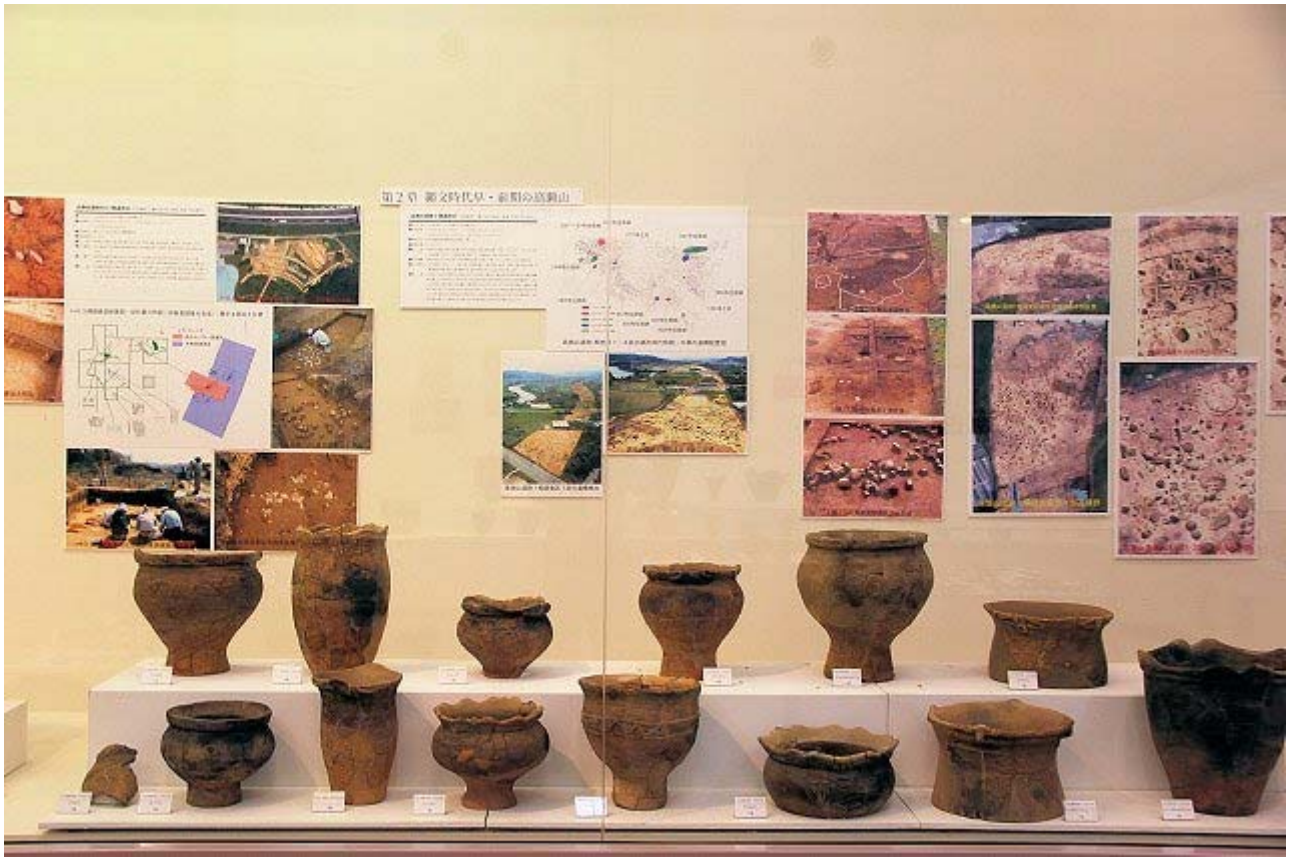
地区名	調査原因	調査年度	調査面積	縄文時代の検出遺構	出土遺物	調査主体
K	市道元町平塩線道路改良	1985	860	なし	平安時代の土器	市教委
K	市道元町平塩線道路改良	1986	700	なし	平安時代の土器	市教委
L	市道元町平塩線道路改良	1985	64	なし	旧石器・縄文石器	市教委
B	市道元町平塩線道路改良	1986	500	土坑	旧石器・縄文土器（大木６・９式）・石器	市教委
K	沼川中小河川回収事業	1988	5,436	なし	７～10世紀の土師器・須恵器等	県教委
K	沼川中小河川回収事業	1989				
1期	東北横断自動車道酒田線	1994	19,000	前期後葉の大型竪穴12棟、竪穴37棟、中期後葉の竪穴2棟、土坑多数。	旧石器、縄文時代草創期、早期・前期・中期・後期の土器・石器、代の土師器奈良・平安時代の須恵器・土師器、陶磁器・青磁	(財)山形県埋蔵文化財センター
		1995	12,500			
		1996	9,000			
		1997	4,500			
		合計	45,000			
2期	東北横断自動車道酒田線	1995	68,600	陥穴58基	縄文土器片、石鏃、石匙、石篦等	(財)山形県埋蔵文化財センター
		1996				
	市道山西線	1996	1,540		平安時代の須恵器・土師器等	市教委
ＳＡ	東北横断自動車道酒田線	1996	10,400	中期後葉の竪穴1棟、土器埋設遺構7基、土坑73基	縄文土器深鉢、浅鉢、注口土器	(財)山形県埋蔵文化財センター
		1997	26,000			
	チェリークアパーク整備事業	1997	7,300	晩期竪穴1棟	晩期大洞Ａ、Ａ’式土器、石器、古墳時代の土師器、奈良平安時代の須恵器等	市教委
ＨＯ１期	最上川ふるさと総合公園整備事業	1997	17,800	中期から後期の竪穴24基、土器埋設遺構５、土坑140基、陥穴5基、配石遺構２ヶ所、水場遺構5基	縄文時代早期～晩期の土器、石鏃、石匙等の縄文時代の石器、土偶等の土製品、石製品、木製品	(財)山形県埋蔵文化財センター
		1998	38,400			
		1999	18,900			
		2000	14,200			
		2001	100			
		合計	89,400			
	市道駅南高瀬山線・島落衣線	2000	3,412	土坑	旧石器、草創期尖頭器石器群、前期・中期・晩期の土器片と石器、古墳時代の土師器、奈良・平安時代の須恵器等	市教委
ＨＯ２期	最上川ふるさと総合公園整備事業	2004	460	中期の竪穴1棟	縄文土器片、石器、奈良・平安時代の須恵器・土師器	(財)山形県埋蔵文化財センター
		2005	800			
		合計	1,260			
ＨＯ３期	最上川ふるさと総合公園整備事業	2008	1,500	中期・後期の竪穴1棟、複式炉跡2基、埋設土器5基	旧石器時代のブロック、ナイフ形石器、彫刻刀形石器、中期・後期縄文土器、土製品、石製品、平安時代須恵器、土師器	(財)山形県埋蔵文化財センター
		2009	780			
		2010	1,500			
		合計	3,780			
	学術調査	2011	50		ナイフ形石器、彫刻刀形石器、石刃、剥片等	市教委
		調査面積	253,902			

高瀬山遺跡の調査経過

第１章　旧石器時代の高瀬山

高瀬山１期調査区と高瀬山ＨＯ３期調査区から出土した石器を展示しています。１期調査区では尖頭器を持つ石器群の下層にある礫層で２枚の石刃を持つ文化層が確認されました。ＨＯ３期調査区からは杉久保型ナイフ形石器と神山型彫刻刀形石器が出土し、多数の石刃が接合する石器群も出土しました。この章では59点の資料を展示しています。

第２章　縄文時代早・前期の高瀬山



１期調査区から出土した貝殻沈線文・圧痕文・条痕文を持つ早期の土器片とＨＯ１期調査区から出土した早期の縄文条痕文土器片、同じくＨＯ１期調査区から出土した前期中葉の大木２ｂ式の土器片、ＨＯ３期調査区から出土した大木５ａ式の土器片を展示しています。続いて１期調査区から多数出土した前期後葉の大木５ｂ式、大木６式１期・２期・３期の球胴形深鉢や長胴形深鉢など、この章では55点を展示しています。

第３章　縄文時代中期の高瀬山

ＨＯ３期調査区から出土した中期初頭の五領ヶ台１・２式に併行する土器、ＨＯ１期調査区の中葉大木８ａ式、１期調査区の大木８ｂ式、１期調査区の大木９式土器、ＳＡ調査区、ＨＯ１期・３期調査区から出土した中期末葉の大木10式土器など、この章では25点を展示しています。

第４章　縄文時代後・晩期の高瀬山

ＨＯ１期調査区の後期初頭、ＨＯ３期調査区の前葉の土器、ＨＯ１期から出土した後期前葉後半から後期中葉、晩期前葉から後葉の土器など、この章では33点を展示しています。

第５章　高瀬山の土偶・岩偶

１期調査区から出土した県内最古の土偶とＨ０１期調査区の後・晩期と考えられる土偶と岩偶、合計27点を展示しています。

第６章　高瀬山１期の石器

１期調査区の1341号住居跡から出土した縄文時代前期後葉の打製石器と礫石器、1期調査区から出土した磨製石斧など144点を展示しています。